2026 年 11 月 17 日
シスメックス株式会社

【発表概要】

第 45 回日本認知症学会学術集会 第 41 回日本老年精神医学会 合同大会

高齢一般女性における血漿アルツハイマー病関連バイオマーカーと関連する因子の検討

発表者	近藤慶子 [1]、中野将希 [2]、石木健吾 [3]、三浦雅央 [3]、岩永茂樹 [3]、佐藤利幸 [3]、門田 文 [1]、西村正樹 [2, 4, 5]、三浦克之 [1] [1] 滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター [2] 滋賀医科大学神経難病研究センター [3] シスメックス株式会社 中央研究所 [4] 公立八鹿病院 [5] 公益財団法人医療文化経済グローカル研究所

発表概要	**目的** 高齢一般住民女性におけるアルツハイマー病 (AD)関連バイオマーカーの血漿濃度と関連する因子を検討した。 **方法** 滋賀動脈硬化疫学研究 (SESSA) (2015-2022 年)に参加した 60-85 歳の女性 602 人を対象とした。血漿中のアミロイドβ40 (Aβ40), Aβ42, リン酸化タウ 181 (P-tau181), 総タウ (T-tau), NfL の濃度を全自動免疫測定装置 HISCL™-5000 を用い測定した。認知機能は Montreal Cognitive Assessment (MoCA)を用い、総得点(0-30 点)およびドメイン別の得点を算出した。線形回帰モデルを用い、AD 関連バイオマーカーと年齢や推定糸球体濾過量 (eGFR)を含めた因子および認知機能との関連(n=601)を検討した。 **結果** 多変量調整後の P-tau181, T-tau, NfL および P-tau181/T-tau 比は年齢が高いほど高く、Aβ40, Aβ42, P-tau181, T-tau および NfL は eGFR が低いほど高かった。一方、Aβ42/Aβ40 比は年齢および eGFR との有意な関連を認めなかった。AD 関連バイオマーカーと MoCA 総得点とは有意な関連を認めなかったが、複数のドメインとの有意な関連を認めた。 **結論**

	血漿中の AD 関連バイオマーカーは年齢だけでなく腎機能と関連したが、Aβ42/Aβ40 比や P-tau181/T-tau 比といったマーカー比を活用することで、その影響を軽減できる可能性が示唆された。
セッション	予防・早期診断-5 / P273

シスメックス株式会社

神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号　〒651-0073
Tel 078-265-0500 Fax 078-265-0524